平成30年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市宇宙劇場	
(2)施設概要	①所在地	さいたま市大宮区錦町682番地2JACK大宮
	②施設の設置目的	市民の科学知識の普及と文化活動の推進を図り、 もって地域文化の向上に寄与するため
	③施設の概要	3~5階 ホール 傾斜型ドーム(直径23m) 座席数 280席(車いす席あり) 5階 第1集会室および第2集会室 定員各36名) 第3集会室 定員20名、研修室 定員48名
(3)指定管理者	株式会社五藤光学研	究所
(4)指定期間、指定管理料	①指定期間 平成30年4月1日~令 ②指定管理料 平成28年度95,893千日	和5年3月31日 円、平成29年度103,608千円、平成30年度106,510千円
(5)施設の管理運営の内容	・一般 ・一般 ・一般 ・一一般 ・一一般 ・一一一般 ・一一一一一一一一一一	数55,717人(前年度58,256人) (44,350人(前年度42,106人) (3,839人(前年度1,228人) 会映、全天周ドーム映像の上映 施 況 の保守管理 実施 プラネタリウムなど各種特別投映の実施や、各種講座
(6) 収支状況		29,170千円(前年度31,834千円) 106,510千円(前年度103,608千円) 125千円(前年度482千円) 106,728千円(前年度61,375千円) 8,453千円(前年度700千円) 2,業費 37,575千円(前年度62,982千円)
(7)利用者アンケート等による 市民からの意見・要望等へ の対応		皆用貸し出しブランケットの導入 りにパーテーションを設置する等の待ち列改善 クの更新
(8)その他		

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
効果的なアンケートの実施	利用者へのアンケートを継続的に実施し、利用者のニーズや満足度調査を行った。また、利用者のみならず、館外での「非利用者アンケート」も行い、どのような要素があれば利用していただけるかの分析を行った。
市民の平等利用のための方策	ユニバーサルデザインの考え方に基づき、全スタッフに対して運営開始時に 社会教育施設向けの接遇研修、施設ミッション研修、普通救命講習等を実 施。
施設の安全管理	「さいたま市教育委員会危機管理マニュアル」を踏襲し、宇宙劇場に則した 「危機管理マニュアル」を策定し、緊急事態の発生を未然に防止・低減した。
クレーム対応フローの作成	クレーム対応マニュアルを整備し、クレーム発生時には迅速かつ的確な対応 ができるようにし、利用者からのクレームやのトラブルを未然に防いだ。
天文普及活動	プラネタリウム運営事業においては、プラネタリウム番組を利用する年齢や興味・関心別に分類した番組枠を新設し、利用者ニーズとのマッチングを高め、利用満足度を図った。解説は、専門資格を有した個性豊かで専門性の高い解説員を配置し、プラネタリウムメーカーならではのハイブリッドプラネタリウム機能を駆使した演出を取り入れ、バラエティー豊かな投影を行なった。科学知識の普及を目的とした講演会は、国立天文台や、極地研究所から講師を招き、最新の科学情報をわかりやすく伝えることを目的に実施。学習投影は、青少年宇宙科学館との連携をし、夏には若田宇宙飛行士アカデミーの共同開催も行った。
地域団体への支援業務	日本宇宙少年団さいたま支部や、さいたまプラネタリウムクリエイトへ、活動 支援を行った。埼玉大学との連携事業として地学実験教室も行った。
広報活動業務	ホームページのリニューアルを行い、Twitterの公式アカウントとブログを作成。宇宙劇場のイベント情報や、投影内容等を積極的に発信した。また、チラシ配布の他、電子媒体による広報、大規模な「宇宙劇場まつり」の開催、地元放送局のNACK5との連携を行い、広報活動の強化を図った。

3. 評価

(1)指定管理者による評価

宇宙劇場の設置目的である「市民の科学知識の普及と文化活動の推進を図り、もって地域文化の向上に寄与するため」を踏まえ、これを実現するため様々な仕様事業や自主事業を行なった。

プラネタリウムを活用した事業では、さいたま市文化協会や、さいたま市音楽家協会との「星空ライブコンサート」の共催を行い、自主事業として、有名声優を起用した朗読イベント「ほし×こえ」を実施。文化活動の推進を図るとともに多くの来館者にご利用をいただいた。

また、地域連携を深める事業として、五反田会館への出張プラネタリウム及び出張ワークショップや、(株)J R東日本や、さいたま市都市整備公社の主催する「鉄道ふれあいフェア」では、共同イベントを開催。

「市民の時間」の特別投影では、市民活動の拠点としての活動支援と協働推進を進め、毎月の定期天体観望会では市民ボランティアとの連携を深めた。

利用者の満足度状況の確認と向上を目的としたアンケート調査も実施し、館内整備や美化に努め、集会室貸し出し備品の整備交換を進めることにより、利用者により快適に施設を利用をいただけるように心がけた。 貸会議室等利用者数の減少については、昨年まで夜間利用のあった大口団体の利用がなくなったことが原因である。一般番組と普及事業等の利用者数を伸ばせたのは、プラネタリウム番組を利用する年齢や興味・関心別に分類した番組枠を新設し、利用者ニーズとのマッチングを高め、利用満足度が向上した結果と考え

来年度は、上記結果を受け、貸会議室等利用利用促進を進め、一般番組と普及事業については、更に市民 のニーズを分析し、参加型事業等も取り入れた柔軟な番組企画と普及事業を行い更なる利用者増を図る。

(2)さいたま市の評価(評価担当課:教育委員会事務局生涯学習部青少年宇宙科学館)

総合評価(B)※A~D

- ・プラネタリウム観覧者用貸出しブランケットの導入及び観望会列整理のためにパーテーションを設置する等の待ち列改善、貸出しマイクの更新等、利用者アンケートの意見・要望等を積極的に取り入れるなど、市民サービスの向上が図られた。
- ・施設利用者からのアンケートにおいても、職員応対や施設備品等に対して良好な評価が得られている。
- ・出張プラネタリウムや出張ワークショップを実施するなど、地域連携事業を推進している。
- ・管理運営に際しては、関係法令、条例等の基準を遵守している。
- 昨年度と比べ、人件費、事務費等が増額となったが、利用者数は増加している。

以上のように、自主事業の積極的な実施、市民の利用促進、適正な管理運営の確保において、一定の成果があったと評価できる。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

- ・ホームページやツイッターなど様々な広報活動を今まで以上に行うことで、幅広い世代に宇宙劇場を周知するとともに、プラネタリウム投影事業及び普及事業、自主事業をさらに充実させ、入場者数の増加、市民満足度の向上を目指すこと。
- ・施設、付属設備の修繕を適切かつ迅速に行うこと。
- ・展示物の充実と情報提供の強化を図り、施設利用者へのサービスの充実を図ること。